

7 つの社会貢献テーマに沿ったランナーエピソード集



チャリティカラー 紫《美しいまちと暮らしを支える》

● 加藤 彰一(かとう あきかず) 62歳 愛知県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**ミナミからキタへ、夢の御堂筋逆走。
より良い都市環境の実現を祈願して駆け抜けます！**

——三重大学で教鞭を振るう、建築の専門家だそうです。

専門は病院の設計です。人との動きに注目し、さまざまな条件から建物の構造を考え、研究や設計実務を行っております。じっとしている職業ですから、もともとは健康のためにプールに通っていました。やがて走る方が性に合うとトレッドミルを始め、だったら景色と共に走った方がいいと、自然にマラソンに辿り着きましたね。

——大阪の街はいかがですか。

御堂筋はかつてあった31メートル規制により、建物の高さが整頓された、意外と空がひらけた通りです。また、さまざまな要因が絡まり合ってきた、キタからミナミへの一方通行の大通り。ミナミからキタへと大通りを逆走できる機会は、唯一大阪マラソンのみですから、これを走らないわけにはいきません。3年前の神戸マラソンではフラフラになってしまいましたが、今回はトレーニングもばっちりです。

——奥様も応援してくださっているそうですね。

妻もマラソン好きで、ハーフマラソンと一緒に走ったこともあります。今回走るのは私だけですが、その分応援してくれています。マラソンは、人と人をつなぐスポーツです。外でのジョギング中、道行く人から塩飴をプレゼントしてもらったこともあります。ジムでのトレッドミルから、外へ飛び出して以来いいことづくめです。素敵な大阪の街が、もっと住みやすく心地いい都市になることを祈って、完走をめざします。

● 薮野 淳(やぶの あつし)さん 52歳 大阪府在住

種目:大阪スポーツ応援ランナー(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**大阪万博をもう一度！
生まれ育った街に活気を与えたい。**

——これまでのマラソン歴は？

学生時代にワンダーフォーゲル部で山登りをしていました。しかし社会人になってからは運動とは無縁の生活。50歳になってから始めたマラソン。周りからは心配もされましたが、トレーニングを積むうちに体力もついてきて、2014年に参加した大阪マラソンは完走することができました。そして翌年も参加することが決まっていたのですが、事故で頸椎損傷になってしまい、断念。今年は、リベンジランになります。

——大阪に対して並々ならぬ想いがあるようです。

父親が大阪に尽くしてきて、勲章を頂いたこともある人物。だから「大阪のために頑張る男であれ」という教育を受けてきました。近頃は観光客も増え活気も出てきましたが、かつての活気にはまだ足りません。必要なのは大きな起爆剤。大阪万博の実現に向けて、できることを見つけたいです。

——「美しいまちと暮らしを支える」ためにできることは？

東京はオリンピックで盛り上がっています。それに対抗するには、大阪万博しかありません。実は、33km地点の住之江公園あたりが、私の生まれ育った地元。時が経つにつれて景色が変わっていきませんが、それがよりよい方向への変化となっていくように、祈りを込めて走りたいです。



チャリティカラー 紺《スポーツ・文化を支える》

- 川崎 貞治(かわさき さだはる) 51 歳 兵庫県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟登録競技者)



**始まりは靴のテストラン。
台湾人とマラソンの喜びを共有する。**

———現在はお仕事で台湾に駐在されているとのこと。

靴の開発の仕事をしており、14 年ほど台湾に駐在しています。台湾にも多くのマラソン大会があり、週に一度はどこかしらで開催されていて、私もたびたび参加。中学、高校と陸上部で過ごし、長距離マラソンに親しみがありませんでした。大学時のベストタイムが 2 時間 33 分。今はそれにプラス 1 時間以内が目標ですね。

———仕事仲間と一緒に参加されるようですね。

靴のテストランで他の駐在員や現地の台湾人と走ることがあるのです。元々はただ私ひとりがマラソン好きでしたが、テストランをするうちに仲間たちもマラソンに興味を持つようになっていって。台湾で開催されるマラソン大会は、朝が早いことが特徴。5 時半や 6 時スタートが通常で、ハーフやミニマラソンだと 8 時くらいには終わることも。だから参加しやすく、どんどんマラソン仲間が増えていきました。

———川崎さんにとって、大阪マラソンとは。

一年間を通して台湾のマラソン大会にいくつか参加してから、現地の仕事仲間たちと大阪マラソンで締めくくるというのがひとつのゴールになっています。自分を中心に、走る楽しみの輪が広がっていくことに喜びを感じます。今回も 40 人ほどの仲間たちと走って、完走の達成感を分かち合いたいですね。

- 大角 賢一(おおすみ けんいち)さん 39 歳 大阪府在住

種目:マラソン(グループ)



**発達障害の息子。
話すことはできないが、笑顔にすることはできる。**

———今回はグループでの参加となります。

会社の仲間たちと挑戦、今回で三回目です。過去二回ともに、グループの誰一人としてサブ4の目標を達成できませんでした。もはや、その悔しさとプライドが原動力となっています。みんな陰れた努力が好きなので、今は集まることはなくそれぞれこっそりとトレーニングをしているところですね。

———チャリティカラーの紺色にはどんな思いが。

小学三年生の息子が一人いますが、発達障害で話すことができません。そんなこともあり、市民プールで障害のあるすべての子供に水泳指導届ける「プール・ボランティア」に寄付をしたかったというのが、紺色を選んだ理由です。小学四年生のお兄ちゃんもいるのですが、彼は活発で、私とともに走ってくれることもありますね。どちらも私の大切な息子。彼らが楽しく生きられる場を支えたいと願っています。

———ずばり、今回の目標はサブ4達成ですね。

正直言って、長距離マラソンを始めて今まで、敗北感しか味わっていません。走り終わった後は「もう二度と走らない」なんて皆で言い合っていました。ところが、やはりそのままにはしておけない。会社の仲間たちも同じく、「おい、もう一度チャレンジさせろ」と言ってきました。マラソンは、自分自身との戦いだと思っています。昨年応援に来てくれたものの暑さでぐずっていた息子たちも、今年は成長してくれるかな？



チャリティカラー 水色《自然環境を支える》

- 矢島 克彦(やじま かつひこ)さん 61歳 兵庫県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**自然豊かな水都大阪。
駆け抜けるランナーの心を木々の緑が癒す。**

——初めての大阪マラソンだそうです。

三年前に心臓発作で倒れて以来、健康には気を遣うようになりました。ジムに通うようになって、そこで出会った人たちに「何か目標があったほうが頑張れるよ」と言われ、神戸マラソンへの参加を決意。今ではすっかりハマって、仲間も多くなりました。職場が谷町四丁目なので、トレーニングでも大阪の街を走っています。

——今回のチャリティカラー「自然環境を支える」への想いは。

中之島から大阪城公園までがトレーニングコース。中之島の景色は昔とはすっかり変わり、水と緑が綺麗な街に生まれ変わりました。都会のど真ん中に自然があると、気持ちが良く走ることが出来ます。私は自転車でも走ることも好きで、箕面などで山々を駆け抜けることもありますね。そんな環境が少しでも続き、またこれからも広がっていくことが出来たらという想いで、今回は走ろうと思います。

——マラソンを始めて、もっとも変わった点はどんなところですか。

今までとは全く違うコミュニティが広がったこと。実は SNS 上にはスポーツ関係の仲間しかいません。会社や家族付き合いとも違う関係ができたことが、すごく嬉しいですね。この歳で友達ができるというのは得難い感動があります。今回も、完走後の打ち上げが楽しみです！

- 堀 良治(ほり りょうじ)さん 60歳 兵庫県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**子どもたちと遊んだキャンプ場。
自然が豊かな心を育む。**

——マラソン歴はどのくらいですか。

2011年に神戸マラソンに参加して以来、すっかりハマって走り続けています。やはりマラソンを完走する達成感は、何事にも代えがたいです。大阪マラソンへの参加は今年で二回目。楽しみです。

——チャリティテーマ「自然環境を支える」への想いは？

もともと自然が好きで、子どもたちとキャンプ場に出かけることもありました。やっぱり木々や山々の中に身を置くと、心が穏やかになります。また大阪マラソンは、本来なら車で溢れる御堂筋ががらんとなり、そこを駆け抜けるのがとても新鮮で面白いのです。多くの方の支えにより、実現できている大会なのだと心から実感できます。それは、自然も同じなのです。当たり前にあるものなのではなく、その形を保つためにはきっと支えが必要。私にも何かできることがあればいいなと思い、今回は走ります。

——今回、具体的なタイムの目標はありますか。

目標タイムは3時間30分を切ること。ベストタイムが3時間34分。この4分がなかなか縮まらず、日々トレーニングに励んでいます。家族も応援してくれているので、なんとか達成したいですね。普段から走っている景色も、本番になるとまた違った趣があります。大阪の街をしっかりと楽しもうと思います。



チャリティカラー 緑《子どもの未来を支える》

● 樽井 秀幸(たるい ひでゆき)さん 29 歳 大阪府在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**医療普及活動でアフリカへ。
平等に医療を受けられる環境づくりを。**

———来年、お仕事でアフリカへ行くそうですね。

高校生の頃、オーストラリアへ留学に行っていて以来、ずっと海外に興味を持っていました。その後大阪市立大学にて社会福祉について学び、世界の貧困の様子を見るなどして、何か自分にできることはないかと思うようになりました。来年から二年ほどアフリカで調査を重ねながら、まだ医療が組織化されていない場所で、人が医療を受けられる仕組みを作りたいと思っています。

———マラソン歴はどのくらいですか。

高校、大学とバスケットボールをしていました。体を動かすことは好きでしたが、陸上競技はどちらかというと苦手な方でした。社会人になってからは運動から遠ざかり、身体がなまってきたと感じたので、すぐに始められるランニングを始めました。6年目くらいですね。今回で大阪マラソンには4回目の参加になります。マラソンは成長を実感できるし、目標を達成する喜びが得られるので、楽しいです。

———「子どもの未来を支える」をチャリティテーマに選ばれています。

やはり、医療が届けられていない国の現状を憂えています。少しでも子どもたちに笑顔届けたいという想いを、まずはマラソンに託して走りたいです。そして完走し、更なる未来へと走り出したい。アフリカでも走り回れるように、しっかりと身体を作っておきたいと思います。

● 坂崎 弘美(さかざき ひろみ)さん 54 歳 大阪府在住

種目:大阪スポーツ応援ランナー(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**健やかな身体と、忍耐力。
子どもたちにも強い心を持ってほしい！**

———今回、「子どもの未来を支える」に想いがあるそうで。

私は小児科クリニックの院長を務めております。実は近頃、忍耐力のないお子様が増えてきているんじゃないかと感じているのです。朝が起きられない、頭が痛い、ほんの少しだけ熱っぽい…、もちろんそれらは病院に来る理由にはなるかもしれませんが、徐々にそのハードルが低くなっているような。お子様だけでなく、親御さんも心配性。それも構わないのですが…。そんな中「私自身は、どれだけの逆境に耐えられるのだろう」と考えたのが、マラソンを始めたきっかけでした。今回がフルマラソン初出場となります。

———トレーニングはやはり辛いのでしょうか。

ジャズダンスを19年間やっていますので、運動に対しては免疫がありました。また、もともとストイックなもので、病院のスタッフも応援してくれています。「帰宅ラン」と称して、毎週水曜日は一時間かけて家まで走って帰るようにしています。大阪の街は走って眺めると綺麗なもので、とても気持ちがいいですね。

———初めてのフルマラソン、意気込みは。

きっと苦しいとは思いますが、完走できるかどうか、実は不安です。だけど、だからこそ、それに立ち向かう姿勢を子どもたちに伝えられたらと思っています。目標に向かって挑戦する。過酷なことに立ち向かっていく。今を生きる子どもたちに必要なことは、その訓練を積むことだと思っています。しんどいことは頑張れるきっかけだと思って、本気で挑戦します！



チャリティカラー 黄色《家族を支える》

●舞 泰孝(まい やすたか)さん 50 歳 大阪府在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟登録競技者)



**脳こうそくになり、寝たきりの父。
大阪の景色を父の心と一緒に走りたい。**

——今回、初めての大阪マラソンへの参加です。

3 回目の応募で、ついに当選することができました。学生の頃から野球とラグビーをしており、身体を動かすことが好きでした。小学二年生の息子がいるので、運動会で活躍して結果を残したいというのが運動のきっかけだったと思います。朝の 5 時半～6 時半が、トレーニングの時間です。

——今回の大阪マラソンには特別な思いがあるそうですね。

二年前の冬、当時 74 歳の父が脳こうそくで倒れました。麻痺にもなってしまい、食事もうを通らないように。現在はアルツハイマーの治療も行っており、少しでも元気になって欲しいと願う毎日です。

実を言うと、父は昔から身体が不自由で、そんな父を幼心に恥ずかしいと思っていたことがありました。しかし今の父の姿を見ていると、やはり込み上げてくる思いがあります。自分が走ることで父に元気を、なんて殊勝なこととは言えません。自分の向上心のために始めたマラソンでしたが、今は「父と一緒に走る」「父とともに生きているこの街を走る」ことを、しっかり達成したいと思っています。自分が走ることで、この景色を父と共有できるんじゃないか。そんなふうに思っています。

——今回の目標はいかがですか。

完走メダルを父にプレゼントすること、それに尽きます。正直なところ、メダルを渡しても父がそれを理解できるかどうかはわかりません。しかし、意味があることだと信じ、私は最後まで走り抜きます。

●松田 ゆかり(まつだ ゆかり)さん 44 歳 兵庫県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**「頑張れ」の言葉に、説得力を。
苦しみと寄り添い、生きることをサポートする。**

——大阪マラソンへの参加は二回目だそうです。

私は緩和医療に携わる薬剤師をしています。仕事柄、患者さんが辛い思いをなさっているところも、多く目にします。そんなとき私はこれまで、「頑張って」という言葉をかけていました。ある日その言葉が、なんだかとても空虚に感じてしまったのです。説得力がない。私はどこまで行っても、この目の前の患者さんの苦しみを理解することができない。全く辛い思いをしていない自分が、今まさに辛い人に対して、何を言えようか。そんなことを考え、ニガテなマラソンを始めようと決意しました。

——走ってみて、いかがでしたか。

私自身の変化なのか、周りの変化なのか、自分の言葉がうまく相手に伝わるようになりました。患者さんからも、応援していただいています。同じ「頑張って」という言葉にも、「私も頑張っているから」という説得力をつけることが出来始めているのかなと感じます。「松田さんが頑張っているから、私も頑張れる」という言葉を頂けることもあり、そんなときは心から、この仕事をしていてよかったと感じます。

——ニガテだったマラソン、今後の目標はありますか。

目標はサブフォーです。ニガテ、とは言いましたが、マラソンを止めることはこの先ないだろうとは思いますが。精神修行として心が強くなるし、なにより、周りの皆さんに顔向けできませんから。



チャリティカラー オレンジ《子育てと若者を支える》

● 松本 功（まつもと こう）さん 58 歳 大阪府在住

種目：マラソン（日本陸上競技連盟に登録していないランナー）



走れる喜びをくれた義肢装具業界の若者たちへ、
58 歳の義足ランナーからエールを。

——長距離を走る義足ランナーはあまり見かけませんね。

大阪マラソンには 1 回目から応募していて、今回初めて参加が叶いました。実は 9 歳で右足を切断し、運動とは無縁の生活を送っていた私。人生を変えてくれたのは、神戸医療福祉専門学校三田校の先生と、若者たちです。義足のモデルとして授業のお手伝いをしていたのですが、そこでスポーツ義足の専門家と出会い、走る喜びを知ることができました。数年前まではメタボ体型でしたが、ウォーキングから始め、やっとランナーらしい姿になれたと思います。

——「長距離マラソン」への参加、周りの反応はいかがでしたか。

自宅の近所でトレーニングをしています。最初はやはり義足が目を引きしていました。普段は長ズボンを履くので目立ちませんが、走るときは短パンになりますから。物珍しく見られていましたが、近頃は反応が応援に変わり、やる気が湧いてきます。専門学校の生徒たちも、温かく応援してくれています。

——具体的な目標タイムはありますか。

5 時間を切ることが目標です。スポーツ義足と出会ったのが 2011 年。初めての長距離マラソンでは 6 時間 43 分で完走することができました。それからコンスタントに走り続け、昨年の神戸マラソンでは 5 時間 4 分。ハンディをカバーする体力をしっかりとつけ、当日に臨みたいと思っています。

● 谷原 多賀雄（たにはら たかお）さん 54 歳 兵庫県在住

種目：市民アスリート（男性・50 歳～59 歳・日本陸上競技連盟登録競技者）



めざせ、サブスリー。
背中を追いかけて行った息子を追いかける。

——マラソン歴はどのくらいですか。

高校生の頃は陸上部で、走ることが昔から好きでした。大阪マラソンにも運よく当選することができ、すでに 5 回ほど参加しております。一昨年に自己ベストタイムを更新、3 時間 13 分の記録を残すことができました。3 時間切りを目標とし、公言しながら走り続けていましたが、最近周りから「早くしないと、無理になるで」と言われはじめ…。達成に向けて、日々トレーニングです。

——息子さんも、ランナーだそうです。

元山梨学院大学陸上部駅伝のキャプテンで、今年大阪府警に就職いたしました。小学生の頃は一緒に走っていたのですが、段々と私が置いていかれるようになり…。今では全く敵いません。大阪府警陸上部は、大阪マラソンの警備にもあたります。そういったところも、気合が入ってしまいますね。

——どういった思いで、最後まで走り抜きますか。

実は、今年は神戸マラソンにも当選しています。今年の神戸と大阪は、インターバルが一週間しかありません。果たして大丈夫か…と不安な想いもあります。しかしとにかく、息子に負けてられない。サブスリーを公言できるリミットも、加齢とともに近づいて来ています。やれるうちに、やりきります！



チャリティカラー 赤《生きる希望を支える》

●津瀬 千鶴子(つせ ちづこ)さん 58歳 京都府在住 種目:マラソン(ペア)



**走れるうちは走り続けたいと強く思う。
がんサバイバーに勇気と元気を！**

——マラソンには長く参加されているようですね。

27年前からずっと走り続けています。習慣ですね。5年前に乳がんを患い、現在も治療中です。入院となったときはマラソンのことなんて考えられませんでした。が、なんとか身体を動かせるようになると、やはりふつふつと意欲が。徐々にトレーニングを再開し、2年前の京都マラソンでは完走することができました。

——ところが、肺がんも見つかり…。

幸い早期発見だったため、即手術。とはいえ、肺の5分の1を摘出したので、「さすがにもうスポーツはできないだろう」と思っていました。呼吸も苦しく、地上にいるのにプールで溺れたような感覚になり、絶望的な気持ちになったことを覚えています。ところが治療を続けて約一年、主治医から「ゆっくりだったら走れる」という言葉をいただくことができました…。またゼッケンをつけて走りたい、ウェアを着て街を駆け抜きたい！という想いがあふれ出しました。

——どんな想いを胸に、今回は知りますか。

どうやら私、走っているときに笑顔になっているようなのです。「ニコニコしながら走っているね、病気とは思えない」なんて言われるほど。「ちゃんと治療中ですよ！」と返すのですが、走れる喜びが知らず知らずのうちに溢れているのでしょう。周りの人も笑顔になり、元気を分け与えられている気持ちになります。早く走ることはできませんが、大阪マラソンは時間も長いので、完走を目標に頑張りたいです。

●多田 豊(ただ ゆたか)さん 58歳 兵庫県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**自分の意志で走り、「元気だよ」と周りに伝える。
がんになって初めてわかった、人の強さ。**

——現在もがんの治療中とのことですが。

昨年4月に上咽頭癌ステージⅢが見つかり、7月まで入院。しかし5年前から始めたマラソンをなんとか続けたいと、8月には神戸マラソンに参加。なんとか完走することができました。ところが、今年の5月にも肺への転移が見つかってしまい、3分の1を切除。もともとはダイエットで始めたマラソンでしたが、今ではすっかり、生きる希望として走り続けたいと思っています。

——高校では日本史を教えているそうですね。

生徒たちは私のがんであることも、ランナーであることも知っています。「先生、なんのために走るの？」なんて言われることもあります。言葉では伝わりにくいその想いを、走ることで生徒に伝えたいと思っています。周りの人に支えられ、走らせてもらっている私。それも、「走りたい」という私がいたからこそ。走りたいと思えるうちは、マラソンを通じて「元気だよ、ありがとう」と周りに感謝を伝えたいですね。

——病気と向き合い、心境はいかがですか。

病院でも、ネット上でも、同じようながんサバイバーがたくさん見つかります。正直、私なんかまだまだヒョッコなのです。もっと辛いはずの方が、強く、元気に生きている。私なんか下を向いている場合ではないと気づかされます。だからこそ、完走したいです。そんなふうに強く思えるようになったのは、もしかするとがんのおかげなのかもしれない、とさえ思っています。

チャレンジ！大阪マラソン

ピックアップランナーインタビュー

● 下野 友里花(しもの ゆりか)さん 22 歳 大阪府在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



大学生活の思い出に。 憧れの大阪マラソンの完走メダルが欲しい！

——同志社大学の三年生だそうです。

中学、高校ではバスケットボール部だったんですが、大学に進学してからは運動する機会がすっかりなくなってしまっ。どうしても身体を動かしたくて家の周りを走っていたのですが、去年勇気を出して京都マラソンにエントリー。完走はできたものの、「自分のラン」が出来なかったことが少し悔しかったです。

——今回、大阪マラソンを走ろうと思ったきっかけを教えてください。

昔から学校のマラソン大会には上位入賞していて、もともと好きだったんだと思います。家族も「やっぱね」という感じで応援してくれました。また、地元が大阪なので、やっぱり走るなら大阪がいいなと。なにより、大阪マラソンはメダルがカワイイんです！何としても完走して、カワイイメダルをゲットして、大学生活の思い出にしたいと思っています。11 月は走りやすい時期だと思うので、頑張ります。

——大阪マラソン当日まで、あと 2 カ月ほど。今のお気持ちを聞かせてください。

高校の頃体育の先生が大阪マラソンに参加していたことを思い出します。そういえばその話を聞いて、私もいつか…、なんて思っていました。いよいよ実現することが、楽しみで仕方がないです。目標は 4 時間 30 分を切って自己ベストを出すこと。頑張る若者もいるんだぞと、アピールしたいです！

ピックアップエピソード

丹羽 健介(にわ けんすけ)さん 38 歳 性別:男 都道府県:大阪府

種目:マラソン(日本陸上競技連盟登録競技者)

念願の大阪マラソン。いつも羨んで眺めていた。

私はトライアスロンの経験もあり、身体を動かすことが大好きです。26 歳から始めたマラソンもずっと続けています。京都市育ちでしたが、仕事で大阪へ。せっかくなら走れるところに住もうと、大阪城が見えるところに引っ越しました。それから…、残念ながら大阪マラソンに当選することが出来ず、いつもランナーたちを眺めていたのです。そんな中、念願の当選。しかも、本番当日の数日前には妻が出産予定です。嬉しいことが二つも一気に。目標はサブスリーで、完走後はそのまま病院まで駆け抜けるつもりです。

山本 有美(やまもと ゆみ)さん 43 歳 性別:女 都道府県:大阪府

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)

ボランティアを経て、ウズウズと。腰痛にも打ち勝つ！

友人がランナーとして出場するのをきっかけに、これまでに大阪マラソンには三回、ボランティアスタッフとして参加しました。給水所、沿道の整理、救護、さまざまな場所でランナーを見ているうちに「私も走ってみたい！」という思いが爆発。もともと腰を悪くしており、10km までしか走ることができませんでしたが、なんとか走りたいと主治医に相談し、許可を貰えることに。それから何度か走って、「沿道の応援とはこんなにパワーになるのか！」と感動しました。温かい大阪マラソン、サブフォーをめざして頑張ります！

大阪大好き！

ピックアップランナーインタビュー

●中野 真伍(なかの しんご)さん 32 歳 奈良県在住

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)



**ランナーや沿道の応援者に笑いを！
目標は完走でもタイムでもなく、誰かを笑顔にすること。**

——大阪マラソンへの参加は初めてですね。

以前から挑戦したいと常に思っていました。何かお金のかからない趣味を見つけないと、6 年前から始めたマラソン。祖父母が大阪市出身だったので、大阪市は子どもの頃に走り回った親しみのある街。この街に住む人々を笑顔にするために、びしびしとツッコんでいきたいと思っています。

——「ツッコミ」というと。

私は病院でカウンセラーをしておりまして、人の役に立ちたいという気持ちが非常に強くあります。コスプレランナーや、面白い応援をしている方がいたら、すかさずツッコんで笑わせたいです。沿道の方にも、ランナーにも「今回の大阪マラソンはおもろかったわ」と思ってもらえることをめざします。もちろん自分も 42.195km を走るのですが、実は不思議と運営サイドの気持ちになっているのです。

——今回の目標は何でしょうか。

具体的なタイムの目標などはありません。とにかく、「笑わせること」が目標です。私のような人は珍しいでしょうか。今はまだ、どんなふうに笑顔を作ろうかアイデアの模索中。一週間に 40km をノルマにしてトレーニングをしているので、身体の準備は万全です。あとはどれだけ沿道の人、ランナーを笑わせられるかが勝負ですね。すべての「ボケ」に目を凝らして、最後まで走り抜けようと思います。

ピックアップエピソード

船越 由貴子(ふなこし ゆきこ)さん 59 歳 性別:女 都道府県:大阪府

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)

色々走ったけど、大阪マラソンが一番サイコー！

運よく当選し続け、今回で 5 回目となる大阪マラソン。生まれも育ちも大阪の私にとって、この景色の中を走ることができるだけで大満足です。また、何といっても沿道の応援のパワー。人が温かいことが、一番の大阪マラソンの特徴だと思います。2 年前に参加したときは 30km 地点で足がつってしまっただけですが、まさに応援の力で最後まで走ることができました。今回も 38km 地点で応援してくれている仲間がいるので、そこまでは何としても走りたいです！毎年みんなでコスプレをしているのですが、今年は少しハロウィンとはズレているので、どんな格好をしようか迷いどころですね。

桶田 覚(おкеだ さとる)さん 51 歳 性別:男 都道府県:大阪府

種目:マラソン(日本陸上競技連盟に登録していないランナー)

しぶしぶ大阪にやってきて 25 年。住めば都で、今では大好きに！

第二の故郷ともいえる大阪。住んで 25 年になりますが、はじめはそれほど好きではありませんでした。ごみごみしているし、人もなんだか怖いし…。だけど、建物は素敵だし、住民もみんな人情に溢れた人だと知り、「この街を走りたい！」と応募し続け、念願の当選。沿道の応援が絶えないマラソンは、大阪マラソンだけ！この大阪市を、景色を、人を、噛みしめて走り、大阪マラソンを存分に楽しみたいです！